

平成 27 年度 西小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

7 月 9 日(木)に開催された「西小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)

【当日参加団体一覧】

ご参加ありがとうございました。



団体名		
寿町自治会	泉町自治会	佐野保育園
栄町自治会	南町自治会	星園幼稚園
西本町町内会	緑町自治会	西小学校
西若町自治会	南和会	西小学校 P T A
加屋町自治会	地域包括支援センター三島	南中学校
広小路町自治会	保護司会	南中学校 P T A
三好町自治会	交通安全母の会	北中学校
清住町自治会		

※当日参加者 23 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 栄町自治会：15 名からなる「栄町青年会」が発足された。自治会の後継者(若手)育成になる。
- 西本町町内会：側溝清掃を行いたいが、蓋をあげての作業で困難。お知恵とご協力を頂きたい。
- 西小学校 P T A：今年の西小まつりでは、西小学校 90 周年の地域の歴史を振り返る写真展を計画中。昔の写真をお持ちの方は、ぜひ貸していただきたい。
- 保護司会：7 月「社会を明るくする運動」強調月間、「小・中学生のポスター展」を開催中。6:30～西小学校でラジオ体操を実施。昨年夏休み期間 1 日平均 134 名が参加
- 西小学校：夏休み中にトイレ工事を実施。工事車両や騒音などご迷惑をおかけします。
- 緑町佐野保育園：園庭解放(火曜日午前)、育児相談を実施。今年は創立 50 周年です。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 自分の命と家族や近所の命を守る取り組みを考えよう！	5 人
② 子どもを通じて地域のコミュニケーションを広げよう！	11 人
③ 施設や行事を活用して地域のコミュニケーションを広げよう！	6 人
④ その他	0 人

※アンケートの結果、テーマ②と③に分かれ話し合いました。

(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ②

「子どもを通じて地域のコミュニケーションを広げよう！」

どのようにして子どもを通じたコミュニケーションの場を広げていくのか、意見を出し合いました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
子ども会を取り込む			<ul style="list-style-type: none"> ●子ども会の活動を通じ、若い父母と知り合う。 ●子ども会を取り込む。子ども会とのつながりを通して、世代間交流の促進を図る。
子ども会の強化と連携が必要	強化 (増員)	<ul style="list-style-type: none"> ●以前と比べて子ども会の活動が鈍っている。 ●子ども会が何をやっているのか、分からない。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会が活発でない。 ・子どもが少ない。少ないながら最低限の活動を何とかやっている状態。 ・子ども会の消滅危機。 ●親の意思で子ども会に入らない。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会に入っていない子のことは、知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動を活発にする。 ●何をするにもまずは、子ども会に全員参加させることから始める。 ●しゃぎりを通じた子ども会員の増員。 ●親にコミュニティの大切さを理解してほしい。
	連携 (新たな繋がり)	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども会に入っているにも週末に少年団の大会等が重なり、行事に参加できない現実がある。 ●昔は西地区子ども連合会があり、まとまっていたが、今はばらばら。どうかまとまれないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●市全体の参加という取り組み(行事)であれば、参加できると思う。 ●関係団体が協力しあい、一つの行事を全体でやる。 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な関係や団体が繋がる。 ●子どもは地域の宝事業に、老人会・婦人会等の応援を頼み実施する。
学校の協力		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会や地域のきずなづくりに、学校は何ができるのだろうか？ ・既に多くの方から、人、歴史、自然などに力を頂いている。地域学の教材化など、とても恵まれた校区。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校内で上下の繋がりを築く取り組みをしてほしい。運動会で町内別のリレーを行うなど。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
PTA(父親)との 関わり強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が少なく、PTA・子ども会の役員が重なる。負担が大きい。 ●子ども会役員に父親がいない。 ●おやじの会ができて、少しずつ変化している。 ・学校行事への保護者の参加は、増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●父親が関わりやすい雰囲気作りが必要ではないか。 ●おやじの会の活躍など、従来とは違う新しい関わり方が生まれている。 ●既存のやり方と新しいやり方をうまく合体させて、地域のコミュニケーションを広げられると良い。
ふれあいの場 を作る		<ul style="list-style-type: none"> ●学校主催や地域主催で、お年寄り子ども達のふれあいの場をつくる。 ●生きがい教室と児童の交流は可能だと思ふ。 ●年度の計画の頃に、声をかけていただければ、老人会の行事に園児も参加できると思ふ。平日、一緒に何かふれあいができたら嬉しい。
魅力ある 行事にする	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃぎりや運動会など、行事によっては地域がまとまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力のある行事の企画が大切。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

◇子ども会会員を増やし、活動の活性化が必要。親に子ども会(コミュニティ)の大切さを理解してもらおう取り組み等、活性化に向け地域で協力しよう！

◇既存のやり方と新しいやり方(おやじの会発足、関係団体との連携協力、ふれあいの場づくり等)を上手く調和させて、地域のコミュニケーションを広げていこう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

テーマ②	「施設や行事を活用して地域のコミュニケーションを広げよう！」
-------------	---------------------------------------

地域の現状とその原因を整理し、地域行事への参加を増やす取り組みについて話し合われました。

		現状・課題	解決策・アイデア
施設や行事を活用する メリットとは？		<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにコミュニケーションをとるのが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ●共通の目的でコミュニケーションを取りやすい。 ●知り合うための有効手段である。 ・行事への参加者が増加。
コミュニケーションが広がった 地域の理想の姿とは？			<ul style="list-style-type: none"> ・町内を歩いていて立ち話が盛り上がる。 ・行事の参加者が多い。 ・ゴミ出し等ルールが良く守られている。 ・地域住民の間で挨拶が励行されている。 ・異なる意見をぶつけ合うことができる。 ・地域に他人でも相談できる人がいる。 ・楽しく行事に参加。結果、日頃のあいさつ、会話ができる関係が生まれる。 ・隣人とのお付き合いがある。
現在の姿	近所付き合いが希薄	<ul style="list-style-type: none"> ●近所づきあい、向こう三軒両隣の関係が薄い。 ●地域のコミュニケーションがとれなくなっている。最低限の冠婚葬祭さえも、嫌がっている。 ・昨年、2軒の孤独死があった。 ・一人暮らしの高齢者が増加し、人との交流の機会が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●先手あいさつ。 ・先に自分からあいさつするよう心がける。
	行事への参加者が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●行事などへの参加はいつも決まった人で、全体の10~20%しかいない。もっと広げる為にはどうするのか？ ●そもそも、地域にどんな施設や行事があるのか知らない。 	
	↓ なぜ、このような現状になったのか？ (原因・理由)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のつきあいを嫌がる。 ・自分の好きなことだけやっていたい。 ●子どもが少ない→親も出てこない。 ・子どもがいない。結婚しない。結婚しないと役員をやらない。 ●仕事をしていた時は、家には寝に帰るだけで仕事一筋だった。誘われて自治会役員になったが、関わってみて悪くないと分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人とのつきあいの良さを訴える。宣伝が必要。

		現状・課題	解決策・アイデア
取組み① 皆が参加しやすく楽しい行事を活用	気楽に参加できる行事	<ul style="list-style-type: none"> 自治会館を老人会や子ども会が大いに利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●皆が参加しやすい行事を企画し、楽しんでもらう。 ●もちつき、運動会は楽しい。 ●行事の後の打ち上げ。
	しゃぎり	<ul style="list-style-type: none"> 三島はしゃぎりがあるので、地域の交流は盛んな方ではないか。 父親がやっていると、子どもは入りたがらない。 しゃぎりだからと言って良いことばかりではない。揉めることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●しゃぎり等のつながりで、世代間交流があると地域に入りやすい。 ●父親の引き際が大切。 ●しゃぎりに限らず、集まって何かやることはいいこと。大切なのは運営方法。
	楽しみの多様化	<ul style="list-style-type: none"> 昔は町内会の日帰り旅行があった。参加者も多く、楽しかった。中心になる世代がいなく、現在はやらない。 ●昔は楽しみがそれしかなかった。今はそれぞれ好きなことがあり、個々に楽しんでいる。多様化している。 	
取組み② 地域の良さを宣伝	若い世代へ	<ul style="list-style-type: none"> 西地区の自治会の活動は素晴らしいと思う。そこに出てこない人達をどうするかが問題。 運動会や祭りなどで、すでに良いコミュニケーションがとれている 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣同士の付き合いが肝心。若い世代は問題意識を持って、心がけてもらう必要があるのではないか。 ●子どもがいるから、親・祖父母もできて地域が盛り上がる。子どもを中心に。
	要支援者へ	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者の方々は、「ほっといてくれ」と言われる。 病気の方は外に出ていくのは難しい。 祭りの花火にも苦情が出た。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションでは、電球の交換に呼ばれるなど、頼りにされている面もある。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇しゃぎりや運動会の参加率は市内トップレベル。もちつきや運動会など、気軽に楽しく参加できる機会を活用して参加者を増やそう！
- ◇地域は子どもを通じて繋がっている。子どもを中心とした活動に取り組もう！
- ◇西地区の自治会活動は素晴らしい。地域行事に参加しない人に対して、地域活動の良さを宣伝・PR方法を検討しよう！

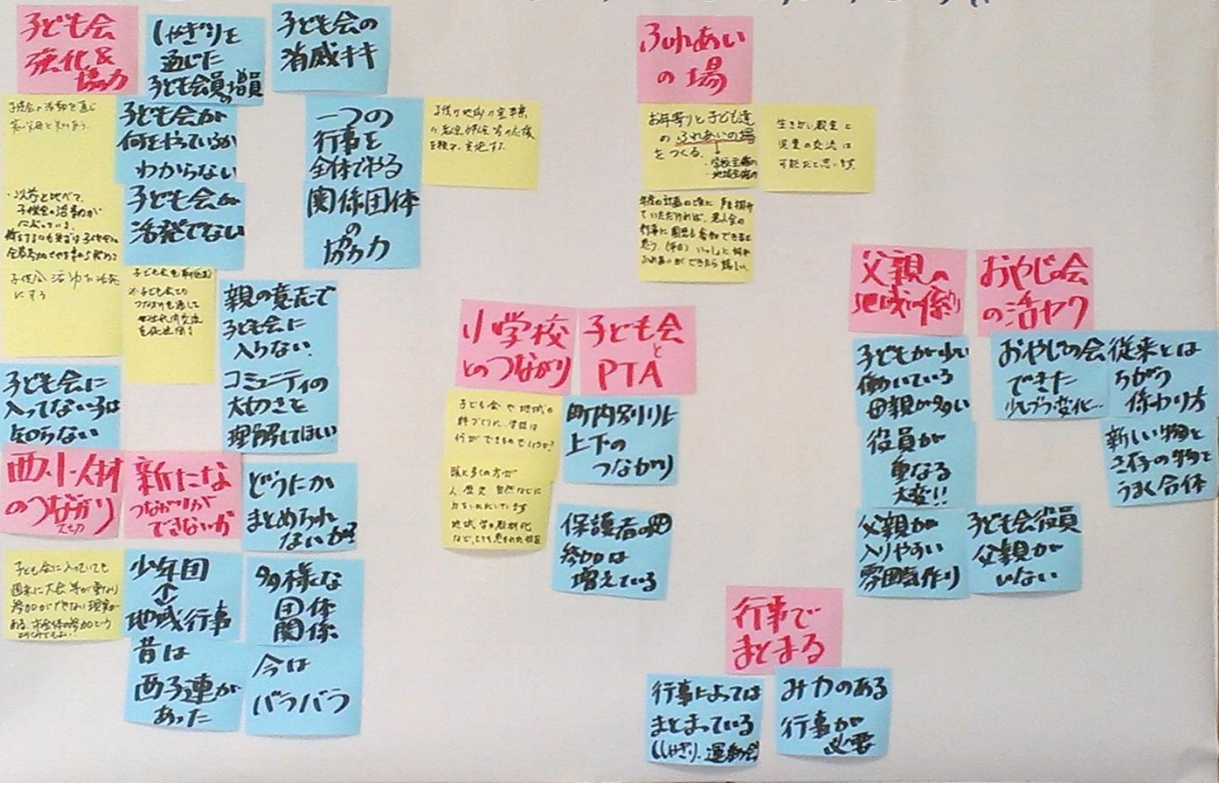
今回の話し合いで出された意見を参考にして、
 各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
 次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



西小学校区

H27. 7. 9

子どもを通じて地域のコミュニケーションを広げよう!!



西小学校区

H27. 7. 9

施設や行事を活用して地域のコミュニケーションを広げよう!!

